

陸前高田市復興プロジェクト

中川 直洋（公益財団法人Scholl Aid Japan事務局）
矢尾板俊平（淑徳大学コミュニティ政策学部専任講師）

概要

陸前高田市復興プロジェクト の概要

概要

背景

街づくり イベント

経営塾

まとめ

- ◎ ボランティア派遣（企業や教育機関等との連携）
- ◎ 地域経済の復興・活性化のための計画
 - ◎ 地元企業、住民の皆さんと一緒に復興に向けた取り組みを実施。
 - 陸前高田市復興街づくりイベントの開催
 - 経営勉強会の定期開催
 - ◎ 活動は、「復興」だけではなく、今後の多くの地域の活性化に向けた実践例にもなると考えられる。
 - 人口減少、高齢化の中で、どのように地域経済を成長させるかが重要
 - ポイントは、地元企業が『競争力』を持つこと。

概要

復興過程と戦略

概要

背景

街づくり イベント

経営塾

まとめ

- ◎ それぞれの「段階（過程）」において、必要とされる対策を地元のニーズに合わせて実施している。
- ◎ 現在は、第1段階から第2段階への移行期と認識。

第1段階

収入の獲得から
事業・生活の再開

第2段階

自立型地域経済
循環の拡大

第5段階

持続的経済循環

第4段階

構造調整期

第3段階

開放型地域経済
循環の拡大



背景

陸前高田市の被災状況

概要

背景

街づくり イベント

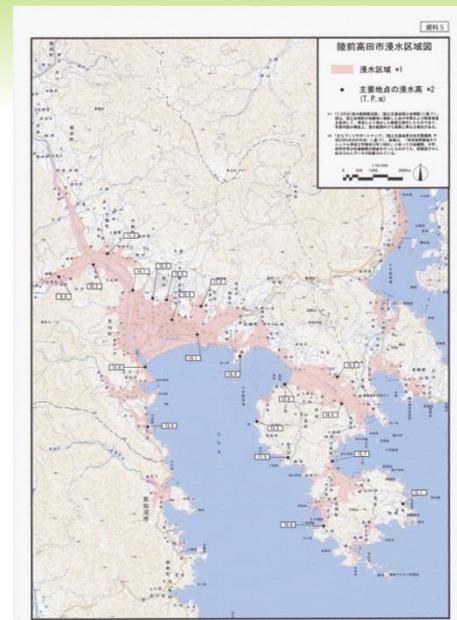
経営塾

まとめ

- ◎ 死者：1,554名
- ◎ 行方不明者：303名
 - ◎ 被災当時の人口は、約2万人超。
 - ◎ 街の中心街が津波で浸水被害。
 - ◎ ほぼ壊滅状態となった。

総世帯数	8,069世帯 ※平成23年2月末現在
被災世帯数	4,057世帯
うち全壊	3,801世帯 ※平成23年9月7日現在
うち大規模半壊	113世帯
うち半壊	103世帯
うち一部損壊	40世帯

出典：陸前高田市のホームページ「東日本大震災に係る災害状況について」
<http://www.city.rikuzentakata.iwate.jp/index-img/hazard1.pdf>



背景

陸前高田市の状況 (5月末)

概要

背景

街づくり
イベント

経営塾

まとめ



背景

陸前高田市の状況 (5月末)

概要

背景

街づくり
イベント

経営塾

まとめ



背景

直面する課題：雇用と人口移動

概要

背景

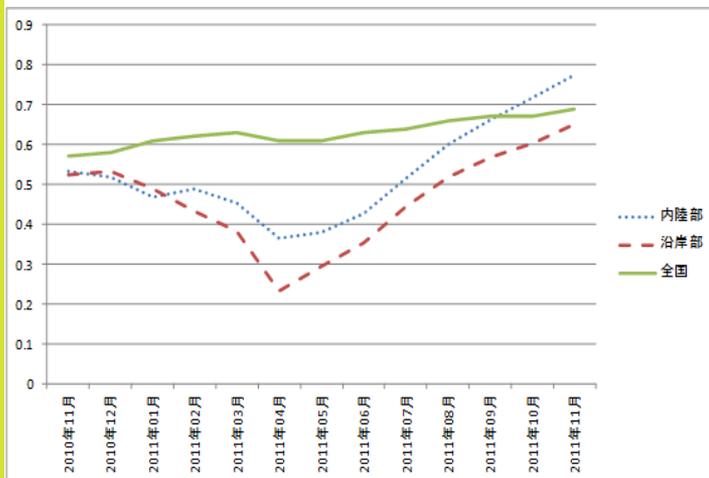
街づくり イベント

経営塾

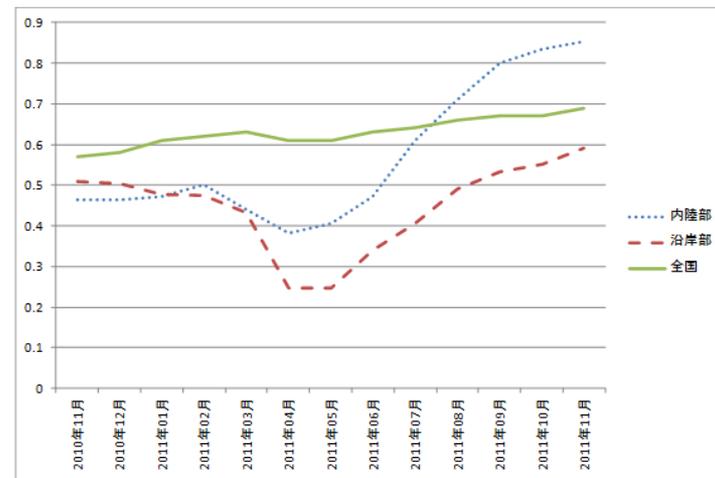
まとめ

- ◎ 総務省統計局によれば、3月期から8月期までの期間の人口移動は**3万8031人**。（主に県内移動）
- ◎ 沿岸部と内陸部で「雇用」の格差が拡大。

岩手県の沿岸部と内陸部の比較



宮城県の沿岸部と内陸部の比較



出典：岩手県労働局、宮城県労働局『一般職業紹介状況』

背景

概要

背景

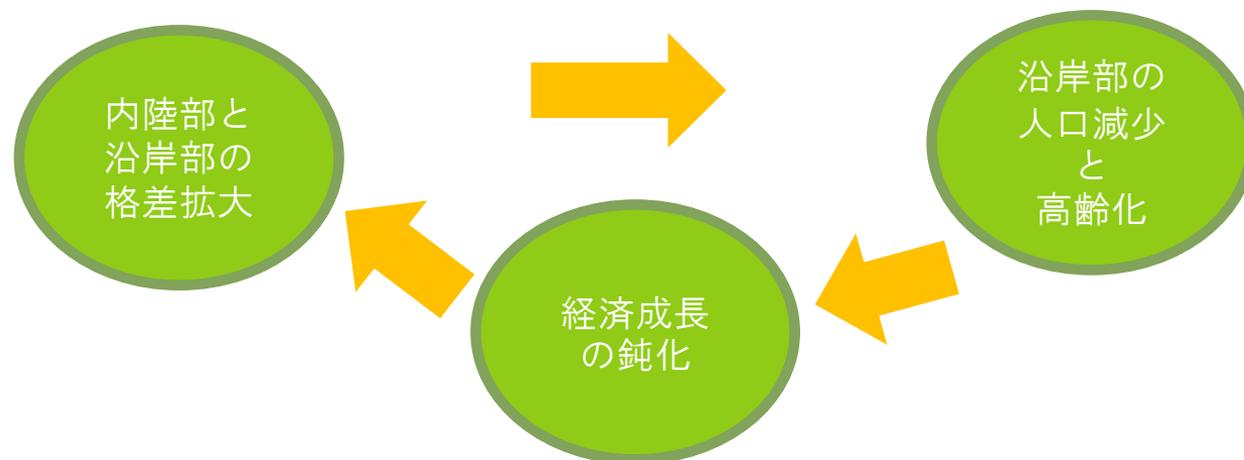
街づくり イベント

経営塾

まとめ

直面する課題： 格差の拡大と地域の衰退化

- ◎ 人口移動に伴う「人口減少」と「高齢化」が進展し、地域経済の衰退が急激に進展する可能性も考えられる。



- ◎ 人口移動の要因は、①被災地外への避難、②仕事（職）を求めての移動（地域労働市場の問題）
- ◎ 内陸部と沿岸部の「格差」が拡大することにより、経済の衰退化の悪循環が進み、さらなる衰退化の可能性も

背景

震災前から進んでいた人口減少と高齢化

概要

背景

街づくりイベント

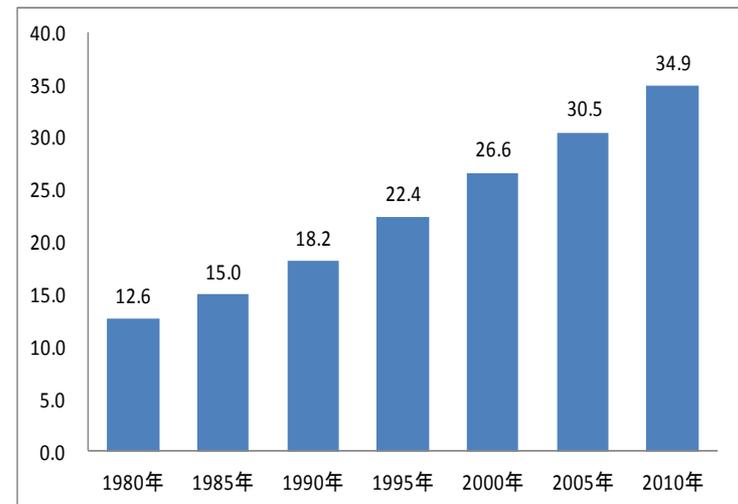
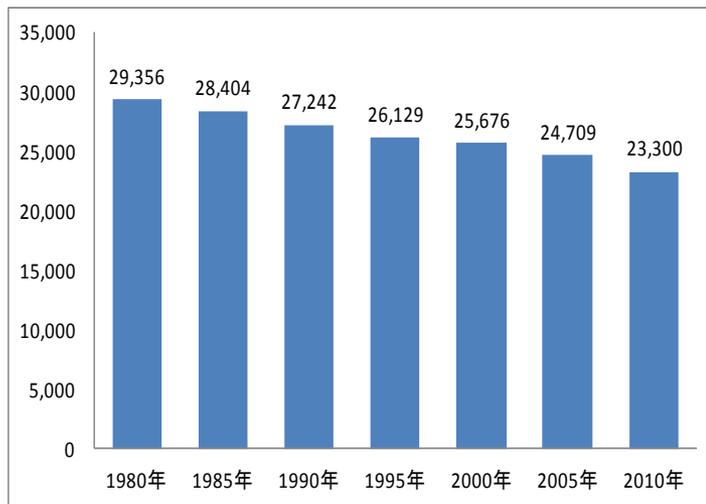
経営塾

まとめ

◎ 震災前から人口減少と高齢化は始まっていた。

◎ 震災後に「急激」に進展した。被災地の経済復興は、日本のさまざまな地域が抱える問題の解決にも多くの示唆を与えるものと考えられる。

陸前高田市の人口動態と高齢化の推移



出典：国勢調査

背景

課題への対応

概要

背景

街づくり イベント

経営塾

まとめ

- ◎ 高齢化の進展の影響
 - ◎ コミュニティ機能の低下（限界集落問題）
 - ◎ 財政負担の増加
 - ◎ 需要サイドの縮小（＝需要と供給のミスマッチによる供給の縮小→経済の縮小）
- ◎ 必要な対策
 - ◎ 雇用を生み出す（→人口移動、高齢化の抑制）
 - ◎ 需要の増加（地域内だけではなく、地域外との取引も通じて）
- ◎ 求められている対策は、「震災」前からも地域に求められていた対策 ⇒ 「復興」限定ではなく、他地域でも活用できる事例になると考えられる。

取り 組み

陸前高田市復興街づくりイベント ～夢おこし、街おこし～

概要

背景

街づくり イベント

経営塾

まとめ

- ◎ 陸前高田市復興街づくりイベント～夢おこし街おこし～の開催
 - ◎ 地元企業の方々には「商売をする楽しみ」を、住民の方々には「買い物をする楽しみ」を感じていただくことで、地元で「商売をすること」のきっかけを作るために開催。
 - ◎ 8月27日、28日の両日で、地元商店75店、2日間のべ1万7500人の参加者
 - ◎ 開催にあたって、陸前高田市、地元商工会などの団体、地元企業との連携を図り、「陸前高田市の住民の皆さんに喜んでもらうために」をスローガンに、地元の皆さんの要望を企画に反映させていった。

取り
組み

街づくりイベントの様子

概要

背景

街づくり
イベント

経営塾

まとめ



取り 組み

概要

背景

街づくり イベント

経営塾

まとめ

復興街づくりイベントから 一般化できるポイント

- ◎ 行政における理念経営メカニズム
 - ◎ 理念（目的）の共有→目標設定→戦略・方法の策定→コミュニケーションによる理念・情報共有と意見交換（スタッフ間・住民の皆さんとの間）→チェック→改善→・・・
 - ◎ ポイント：成功するイメージを作り、会議を積み重ねていく
 - ◎ 「誰のために」という理念を委員・スタッフ間で共有するメカニズムの重要性（ミーティング、意見交換）
 - ◎ 会議を通じて、同じ理念を共有できる人を巻き込んでいく

取り 組み

復興街づくりイベントから 一般化できるポイント

概要

背景

街づくり イベント

経営塾

まとめ

- ◎ 対話型の企画立案・政策形成
 - ◎ 住民の方の要望を主体的に聞きにいき、対話・意見交換、その内容を企画に反映し、実施する。
 - ◎ 信頼関係の構築が鍵
 - ◎ (例) イベントの企画：踊り、ヤマニ醤油
 - ◎ (例) 七夕祭り：アーティストのライブ
 - ◎ (例) おせち料理の提供：おせち料理の提供が地元有志による主体的なイベント開催のきっかけにも
 - クリスマスイベント

取り 組み

復興街づくりイベントから 一般化できるポイント

概要

背景

街づくり イベント

経営塾

まとめ

- ◎ スピードの違い：現場への権限移譲
 - ◎ 陸前高田市にスタッフを派遣・駐在
 - 8月中は、Scholl Aid Japanおよび広告代理店
 - 9月以降は、定期的にSAJ事務局スタッフを派遣
 - ◎ 現場に入り、現場で決定をしていくためのプロデューサーへの権限移譲とチェック
 - 信頼感をベースとした権限移譲
- ◎ 業者（広告代理店）の活用方法
 - ◎ イベントースタッフの当日のリスクを全て背負ってもやる意気込み
 - ◎ 丸投げはせず、会議を通じて、理念の共有化

取り 組み

地元企業との経営勉強会

概要

背景

街づくり イベント

経営塾

まとめ

- ◎ 街づくりイベント開催後、地元企業の皆さんの事業復興への意欲が高まり、具体的な事業再生のサポートを行う。
- ◎ 地域の復興には、「雇用」と「納税」を生み出す必要性がある。（これは、全国の地域政策の課題）
- ◎ 人口減少・高齢化が進む地域内の需要だけでは、今後は地域経済が衰退化していく可能性もあり、地域外との取引も重要になる。（地域ブランド化の重要性）
- ◎ 勉強会には約70の地元企業者の方が参加
 - ◎ 経営に必要な知識や技術（事業計画の策定、資金調達方法）を学び、地域の活性化をサポート
 - ◎ 勉強会や個別相談会を通じて、地元企業の皆さんからの行政への要望をお聞きする「対話」の場としての機能も
 - ◎ 講師は渡邊美樹陸前高田市参与の他、ゲスト講師を招聘。

取り
組み

経営勉強会の様子

概要

背景

街づくり
イベント

経営塾

まとめ



取り 組み

経営勉強会から生まれた 新たな「夢」

概要

背景

街づくり イベント

経営塾

まとめ

- ◎ 経営勉強会の参加者2名が、2012年1月30日に中野サンプラザで開催された「みんなの夢アワード2012」に参加し、きのこのSATO販売会社の佐藤博文氏が夢アワードを受賞。

- ◎ きのこのSATO販売会社



- ◎ 「しいたけ」や「きくらげ」の生産を行っており、きのこの生産・販売を地域外にも拡大させ、雇用を生み出す計画。それによって、陸前高田市の復興をめざす。

- ◎ ヤマニ醤油



- ◎ これまでは、「御用聞き」を通じて、地元の住民の皆さんに愛されてきたヤマニ醤油。今後は、日本国内だけではなく、アジア、そして世界にヤマニ醤油の味を拡げ、「陸前高田」ブランドを作り、雇用を生み出しながら、陸前高田市の復興をめざす。

まとめ

陸前高田市の現状と 営業が再開した地元商店

概要

背景

街づくり
イベント

経営塾

まとめ



まとめ

人口減少・高齢化時代の 地域「経営」の時代に向けて

- 本計画の意義 -

概要

背景

街づくり
イベント

経営塾

まとめ

- ◎ 「震災」、「人口減少」、「高齢化」の中で、地域経済の衰退が急激に進展する可能性が高い中、地域経済の活性化・発展のための取り組みが進んでいる。
- ◎ 他地域においても「人口減少」、「高齢化」が進んでいる状況は同様であり、今回の計画は、「人口減少」、「高齢化」が進んでいる地域にとってのモデルを提供できる。
- ◎ 本計画が参考になると考えられるポイント
 - ◎ 地域住民、地元商店との対話・合意形成の方法
 - ◎ プロジェクトの進め方（民間企業のノウハウ）
 - ◎ ブランド化、マネジメント管理に伴う企業の競争力の向上戦略